

## トンボの池

- 1997年完成
- 人力のみで土を掘って、底を粘土で固めてつくる
- 周囲の石積み、杭、粘土は貝塚産
- 植えたアンペライ、ヨシ、ミソハギ、カサスゲ、セリ、コガマも貝塚産
- 雨水のみで維持
- これまで25種のトンボを確認
- ムモンチビコツブゲンゴロウは大阪府初記録
- アメリカザリガニが増えすぎた ← 除去

## ドングリの森

- 1998年完成
- トンボの池を掘った土で盛り上げた
- 下に雨水を地下タンクに引き込むパイプ
- 水間公園の裏からドングリ（芽が出たドングリ）を拾い、地元の小学生から里親を募って、苗まで育ててもらった
- クヌギ、コナラ、アベマキを苗から育てた
- 高さ9m近くになっている木もある
- 2011年から樹液が出始める

## バッタの原っぱ

- 1999年完成
- 下は雨水を貯める地下タンク
- ドングリの森からも雨水を貯めるパイプが来ている
- ススキを植えた（大川などから）
- 2006年からのバッタ調べで21種のバッタ目昆虫を確認（市民の森全体では35種）

## 海辺の植物ブロック

- 1999年完成
- 二色の浜から砂を移植
- 二色の浜からハマヒルガオ、ハマエンドウ、ハマボウフウ、ハマゴウ、コウボウシバを移植
- コマツヨイグサ、ツキミマンテマ、シロバナマンテマ、コメツブウマゴヤシ、オランダミミナグサなどの外来種が増えている